

【編集後記】

大金を賭けて囲碁の勝敗を争う「賭け碁」。しかし、囲碁では両者の力の差が歴然としている場合もあるので、それがどのような意味で賭博（刑法一八五条）となるのかについて詳細に論じた判例（大審院大正4年10月16日判決）がある。

—— 囲碁は、一定の法則を了知し、布石その他特別の思索を練磨し、臨機応変に対応する才能を発揮する点において全く偶然によって勝敗の決するものとは異なるのは当然である。しかし、人の思考力は常に一定というわけではなく、身体や精神状況その他外界の有形無形の影響を受け、平静を保つことができないことは往々にしてある。そのため、能力を発揮できず、相手に好手を許し虚しく嘆くこともある。力の差が歴然としていて、勝敗が事前に予測できるようなときは、賭けに当たらないことはもちろんであるが、技量に差がある場合は、先手、井目（セイモク）はじめに黒石を九個置いて打つハンディ戦のこと）その他の方法で棋力を同等にして黒白を闘わせるので、そのような場合はなお偶然によって勝敗が決するものと言わなければならない。（原文は文語文）——

碁好きならば、この判決文を読んでニヤリとするはずである。おそらくこれを書いた裁判官も、よほどの碁好きだったのだろう。裁判所の昼休み、裁判官室で碁盤を囲んでいる姿が目につく。それにしても、最近はこのような面白い判決文が少なくなったように思う。（園田寿）

甲南法務研究 (KONAN LAW FORUM) 第 11 号

2015 年 3 月 初版第一刷発行

- 発 行 甲南大学法科大学院
兵庫県神戸市東灘区岡本 8-9-1
TEL 078-435-2603 FAX 078-435-2760
URL : <http://www.konan-u.ac.jp/lawschool/>
E-mail : lawschool@adm.konan-u.ac.jp
- 制 作 株式会社 T K C
東京都新宿区揚場町 2 番 1 号 軽子坂 MN ビル 4 階
TEL 03-3235-5639 FAX 03-3235-5649
- 印 刷 倉敷印刷株式会社
東京都墨田区錦糸 4-16-17
TEL 03-6658-0031 FAX 03-6658-0032